

## 資料No. 1

事業名	事業概要	事業実施状況			配分額 26年度	備考
		事業実施状況	NPO等	その他関係団体等		
被災店舗等復興支援事業	震災により被害を受けた被災者の生活向上を図るため、被災店舗の再生を促進し、被災者への就業機会を提供する。	被災店舗等復興支援基金	岩手県商工会連合会	野田商工会 山田商工会 大船橋商工会 陸前高田商工会	9,516千円	被災業者経営動向調査 ・大船橋トラ市(10/2) (268,057円)
温泉買物バスの運行による販路拡大と観光振興事業	温泉買物バスを活用し、温泉地への観光客の誘致を図るとともに、温泉地の活性化を図る。	温泉買物バス運営委員会	岩手県温泉協会	温泉買物バス運営委員会	6,680千円	温泉買物バス運行開始 (利用者176名) ・協議会2回開催 (1,360,357円)
復興ステーション事業	内陸各地域に避難している方が必要な情報や物資の提供を行う。また、被災者同士の交流の場として活用し、生活環境の改善を図る。	復興ステーション運営委員会	NPO法人いわて復興センター	保原センター ・国保野田診療所 ・シルバーサポーター ・NPO他	8,017千円	内陸避難者への情報発信 ・コミュニティ交流事業 ・就労・起業支援 ・交流・研究オフィス構築 ・ボランティアバス運行 ・情報交換会開催 (2,139,468円)
復興支援に向けた協働マッチング推進事業	県、市町村、NPO、地域コミュニティ等、異なる主体間の協働マッチングおよび各種支援制度・助成金等の獲得を図ることにより、県内に於ける復興と持続可能な社会の実現に向けた「協働の基盤」を構築する。	復興支援推進委員会	いわて復興センター	黒沢地区自治体協議会 いわて復興センター 北上市短所協議会 北上雇用対策協議会	6,876千円	連携ミーティング ・3県連携復興会議 ・現地調査 ・震災復興支援団体の助成金獲得支援 (271,788円)
地域コミュニティ創造事業	震災による被災地では今後、地域コミュニティの再生が大きな課題であると思われる。本事業は、市民参加型で地域の復興を実現するための取り組みを行い、市民と行政をつなぐ中間支援組織であるNPO法人風波デザインが沿岸部被災地区のコミュニティ創造の手法やアイデアなどを発信し、交流型観光を再生させる。	地域コミュニティ創造推進委員会	NPO法人風波デザイン	NPO法人ゆうもあ・ねつと 宮古市仮設住宅住民グループ	4,295千円	まちづくりコーディネーター養成講座2回 ・沿岸地区ミニ講座1回 (180,216円)
映像コミュニケーションを活用した交流型観光の再生支援事業	震災前から交流型観光を行ってきた。映像コミュニケーションを活用し、行政、NPO、早稲田大学、岩手県立大学、岩手県立短期大学の協力により、映像型観光を再生させる。	映像コミュニケーション推進委員会	NPO法人映像ネットワーク	早稲田大学 岩手県立大学 ヒューマンハウス株式会社 ・ヒューマンハウス株式会社 ・ものがたり法人Fire Works ・日本交通公社 ・在京東北野村ふるさと会 ・早稲田大学サークル恩恵の森の会	6,336千円	撮影講習会 ・田野畑関係者への取材 DVD編集発注 ・ワークショップ準備 ・ブログによる情報発信 (1,131,990円)
海と親しむ空間づくり事業	震災により大きな被害を受けた地にて、観光と水産業の連携を図り、二子漁港から舟遊海水浴場までのエリアを活用することによって、海と親しむ空間づくりや地域の活力を生み出すことを目的とする。久慈市唯一の舟遊海水浴場の開放し、市民や観光客の来訪を促す。米寿者が安心安全の心と差込んでもらいたい。今でも続く金蔵や毎年の津波に対応するため視覚的強化を図る。また、海で泳ぐことはもちろん砂浜付近には海の生物とふれあえる区画を設け、舟遊海水浴場から玉の湯温泉までは約1kmあり、峠付近に交流館を整備し、地域とのふれあいの場を提供する。また、五の湯温泉においては、久慈の新緑な魚介類を全国に発信するべく毎月二子朝市を開催し、地域活性化につなげる。	海と親しむ空間づくり推進委員会	二子生産部	久慈市漁業協同組合	3,577千円	舟遊海水浴場開設 ・サモーンフィッシング ・二子朝市 (1,487,325円)
旧番屋を核とした被災者支援の拠点形成事業	震災による県内の被災者の生活支援を行うため、盛岡市荒巻町の旧番屋を拠点として、市民と被災者の交流を深めながら、被災者のみなさんの心に寄り添う支援活動を展開する。	旧番屋を核とした被災者支援の拠点形成委員会	SAVE WATER	盛岡市	3,995千円	復興応援のぼり及び横断幕作成 ・被災地フロントライン研修 ・復興応援イベント開催 (1,738,338円)
つながろう三陸！ 三陸地域と三陸鉄道復興プロジェクト	三陸地域及び三陸鉄道の復興を受け、困った時はお互いさま精神による「つながりの輪」を創出すると同時に、被災地を中心とした地域コミュニティの発展と県外の鉄道ファン等特定コミュニティの支援をつなげ、復興プランを構築することにより、三陸地域及び三陸鉄道の復興を促すと同時に、今後の震災復興に役立つ成功モデルを創る。	三陸地域復興プロジェクト推進委員会	NPO法人久慈三陸復興協議会	岩手県久慈市 城島町協議会 久慈市協議会	8,011千円	NPO法人やまぜデザイン ・NPO法人危機管理機構 ・三陸鉄道株式会社
いわて三陸復興地・学術研究フィールド構築事業	全国の大学・博物館・研究機関等の研究者や学生を対象に、沿岸被災地の調査・研究を受け入れる体制を構築することにより、観光関連産業を中心とする地域産業の活性化を図り、全国的な研究者等とのネットワーク構築とその支援による学術的資料の蓄積により、将来の地域復興・人材育成に貢献するもの。	いわて三陸復興地・学術研究フィールド構築委員会	公益財団法人岩手県文化振興事業団	岩手県立大学 岩手県立短期大学 東北大学 JTB株式会社 中央開発網	3,029千円	現地調査 ・HP作成 ・日本ジオパーク全国大会発表 (2,142,000円)

合計 60,332千円